

当院で妊よう性温存治療を受ける患者さんへ

## 新しい患者登録システム（「新」JOFR）の 新規導入のお知らせとご参加のお願い

当院で妊よう性温存治療やカウンセリングを受ける患者さんには、これまで日本がん・生殖医療登録システム（以下、JOFR）へのご参加をお願いしてきました。JOFRは、妊よう性の問題に直面するがん患者さん等のために有用な情報（治療成績や妊娠率等）を作成し、医療体制や治療成績のさらなる向上に結び付けることを目的としています。皆様のご協力のおかげで今まで5,000名以上の全国の患者さんにご参加いただいております。

（現行のJOFRについては、当院所定の説明書をご覧ください）

そしてこの度、2021年4月から妊よう性温存治療を受ける患者さんに対して全国で公的助成制度が開始されましたが、公的助成金が支払われるためには2021年秋頃に稼働する「新」JOFRへご参加いただく必要があります。

この新JOFRでは、現行JOFRから以下の項目が主に追加、変更されます。

- 専用のアプリによって、スマホなどから患者さん自身で情報を入力・閲覧可能に
- 全国がん登録のデータを活用し、精度の高いデータ管理へ
- 現行JOFR用国内サーバに加えて、氏名・住所専用の国内サーバを利用

今後、専用アプリでは患者さんにとって、役立つ機能や情報を提供していく予定です。

そこで、2021年4月以降に妊よう性温存治療を受ける（受けた）患者さんには、まず現行のJOFRにご同意・ご参加いただき、2021年秋に新JOFRが稼働したら、改めて新JOFRにご同意・ご参加いただきますよう、お願い致します。

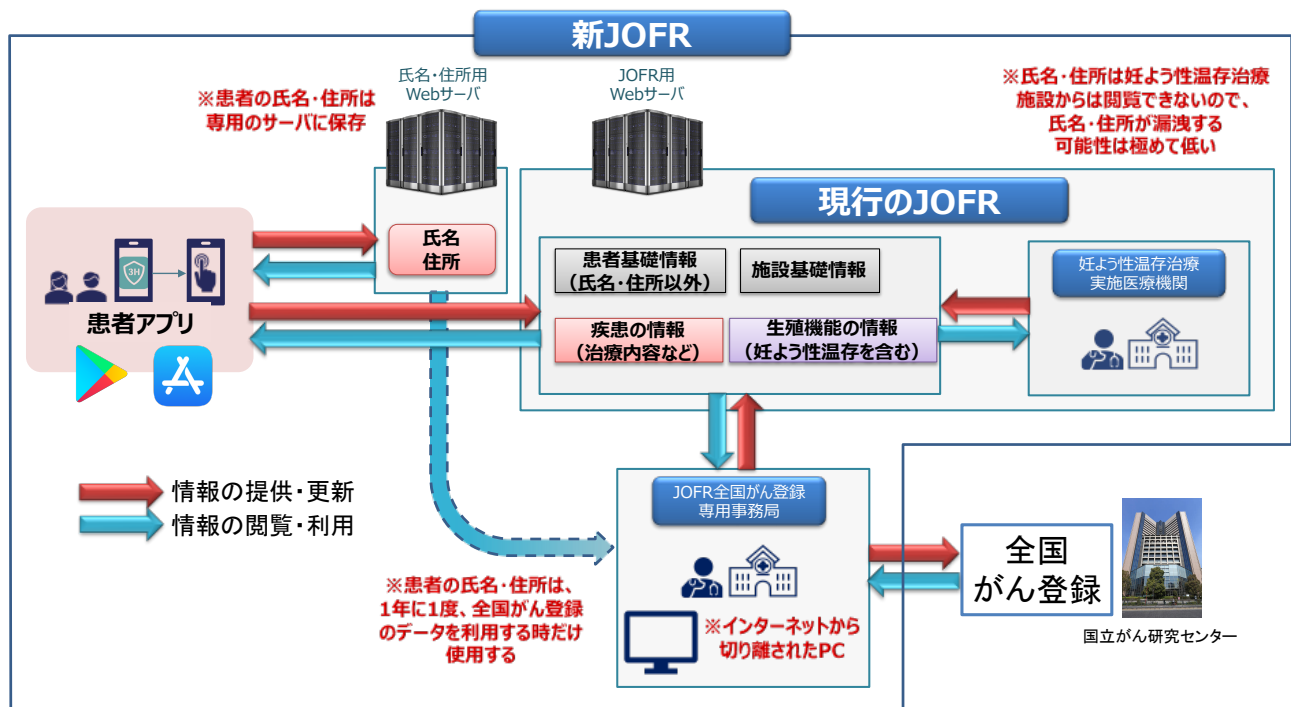


図 新JOFR（2021秋稼働予定）の仕組み

※現行のJOFRも並行して運用されますのでご安心ください。

※※「全国がん登録」については右のQRコードをご参照下さい。

